學齡者ノ保護者トハ學齡者ニ對シ親權ヲ行フ者其ノ後見人又ハ皇室典範第三十七條ニ依リ保育ヲ命セラレタル宮內ノ官僚ヲ謂フ

第五條　學齡者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ就學スヘキ時期ニ於テ就學スルコト能ハスト認メタルトキハ其ノ保護者ハ就學ノ免除又ハ猶豫ノ勅許ヲ受クヘシ

第六條　在學中ノ學齡者ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ其ノ保護者ニ於テ勅許ヲ得テ中途退學セシムルコトヲ得

第七條　學齡者ノ保護者ハ特別ノ事由アルトキハ勅許ヲ得テ其ノ學齡者ヲ學習院又ハ女子學習院以外ノ學校ニ就學セシムルコトヲ得

第八條　學齡者ノ保護者宮內ノ官僚ナルトキハ前三條ノ勅許ハ宮內大臣ヲ經テ之ヲ奏請スヘシ

第九條　本令ハ陸海軍ノ學校ニ入學スル者又ハ勅旨ニ由リ別段ノ教育方法ヲ定メタル者ニ之ヲ適用セス

○華族就學規則

（明治二十五年八月十二日宮內省達甲第二號改正　明治三十九年四月九日宮內省達甲第二號）

第一條　華族ノ男子ニシテ年齡滿六年以上滿二十年以下ニ在ル者ハ本則ニ遵ヒテ修學スルコトヲ要ス

第二條　華族ノ戶主又ハ之ニ對シ親權ヲ行フ者若ハ其ノ後見人ハ前條規定ノ學齡者ヲシテ本則ニ依リ修學セシムル義務ヲ負フヘシ

第三條　第一條規定ノ學齡者ハ學習院ニ入リテ初等學科中等學科ヲ履修スルコトヲ要ス

已ムコトヲ得サル理由アリテ學習院ニ入學シ難キ者ハ官立公立小學校若ハ之ニ代用スル私立小學校及ヒ官立府縣立ノ中學校ニ於テ其ノ科程ヲ修了スルコトヲ要ス

陸軍地方幼年學校若ハ同中央幼年學校豫科及ヒ其ノ本科ノ科程ハ本則ニ於テ相共ニ合シテ之ヲ官立中學校ノ科程ト看做ス

師範學校又ハ公立私立ノ實業學校其ノ他專門學校ニ非サル學校ニシテ文部大臣ニ於テ徵兵令第十三條又ハ文官任用令第三條ニ關シ官立府縣立中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタルモノハ本則ニ於テ府縣立中學校ニ準スルコトヲ得

第四條　疾病其ノ他ノ事故ニ因リ前條規程ノ科程ヲ履修スルコト能ハス特別ノ方法ヲ以テ教育スルコトヲ要スルトキハ其ノ修學ノ場所期間學科目教師タル者ノ姓名等ヲ詳具シテ第二條規定ノ義務者ヨリ宮內大臣ニ申シ出テ其ノ許可ヲ請クヘシ但シ其ノ疾病ニ係ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

海外ニ於テ修學セントスル者ハ其ノ留學スヘキ國名地名學校並ニ

科程若ハ教師學科等ノ名目ヲ詳記シ第二條規定ノ義務者ヨリ之ヲ宮內大臣ニ申シ出テ其ノ許可ヲ請クヘシ

第五條　學習院ヲ除ク外第三條規定ノ各學校ニ入學シタル者ハ其ノ必要ノ事由並ニ學校ノ名稱位置官立公立私立等ノ別入學ノ年月日ヲ詳記シ其ノ學校長ノ本人在學證明書ヲ添ヘテ第二條規定ノ義務者ヨリ直ニ之ヲ爵位局長ニ屆出ツヘシ其ノ轉學ノ際モ亦之ニ準ス

前項ノ在學者半途ニシテ退學シタルトキハ第二條規定ノ義務者ヨリ直ニ之ヲ爵位局長ニ屆出テ速ニ本則ノ範圍內ナル他ノ學校ニ入學セシメ學習院以外ナルトキハ復タ同樣屆出ノ手續ヲ踐ムヘシ

前揭ノ各學校ヲ卒業シタルトキハ其學校長ノ本人卒業證明書ヲ添付シ第二條規定ノ義務者ヨリ之ヲ爵位局長ニ屆出ツヘシ但シ陸軍中央幼年學校卒業ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第六條　第一條規定ノ學齡中ニ在リト雖モ學習院中等學科其ノ他第三條ニ規定シタル中學校程度ノ科程ヲ卒業セシ者ハ勿論然ラサルモ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ該科程ヲ修了シタルモノト看做シ本則ニ於ケル義務ヲ解除ス

一　陸軍各兵科士官候補生又ハ同主計候補生ニ採用セラレタル者

二　海軍兵學校生徒同機關學校生徒ニ採用セラレタル者

三　帝國大學各分科大學高等學校高等師範學校專門學校令ニ依レル官立公立私立ノ各種專門學校本科ノ學生ト成リシ者但シ其ノ公立私立ノ學校ニ係ル者ハ第二條規定ノ義務者ヨリ其ノ學校長ノ本人在學證明書ヲ添付シ之ヲ爵位局長ニ屆出ツヘシ

四　第二條ニ規定セル義務者ノ申請ニ因リ宮內大臣ニ於テ海外ニ在リテ學習院中等學科以上ノ科程ヲ修了セリト認定セシ者

五　判任官以上ノ官吏ニ任用セラレタル者

但シ第二條規定ノ義務者ヨリ其ノ叙任ノ辭令書寫ヲ添ヘテ之ヲ爵位局長ニ屆出ツヘシ

第七條　初メテ學齡ニ達シタル後一箇年ヲ經ルモ猶就學スルコトヲ得サル者又ハ到底就學スルコト能ハサル者既ニ就學セシ後六箇月以上引キ續キ休學ヲ要スル者又ハ廢學ヲ要スル者ハ各其ノ事由ヲ詳具シ第二條規定ノ義務者ヨリ之ヲ宮內大臣ニ申シ出テ其ノ認可ヲ請クヘシ但シ其ノ疾病ニ係ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第八條　本則ニ依リ就學スル者ハ學習院在學者ヲ除ク外每年一回學年ノ終リニ當リ其ノ修學ノ成績ヲ一箇月以內ニ第二條規定ノ義務者ヨリ爵位局長ニ屆出ツヘシ但シ海外ニ留學セル者ニ在リテハ其ノ期間ヲ三箇月トス

第九條　華族ノ女子ノ就學ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

○學習院高等科卒業者ノ大學入學ニ關スル件（大正十年四月二十三日 文部省令第二十七號）

學習院高等科卒業者ハ大學入學ノ關係ニ付テハ之ヲ高等學校高等科卒業者ト看做ス

附　則

本令ハ大正十一年以後ノ卒業者ニ之ヲ適用ス

參　照

大學令

第九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

○學習院學制等變更ノ場合文部大臣ニ協議ノ件

文部省官專七四號

大正十年四月二十三日

文部次官　南　弘

宮內次官　關屋貞三郎殿

學習院高等科卒業者ノ大學入學ニ關スル件

大正八年五月十七日付官房調査祕第一八號ヲ以テ貴省大臣ヨリ當省大臣ヘ御照會相成タル學習院高等科卒業者ノ大學入學ニ關スル件ハ本日省令第二十七號ヲ以テ發布相成タルカ將來同院學制同院規則及同規則施行規程中中等科高等科ニ關スル部分竝同院中等科及高等科

教課教授規程中變更可相成場合モ有之ハ豫メ當省大臣ニ御協議ノ上
御決定相成樣致度

○學習院輔仁會規則

第一章　總　則

第一條　本會ヲ名付ケテ學習院輔仁會トス

第二條　本會ハ本院ニ賜リタル　勅諭令旨ヲ奉體シ院長監督ノ下ニアリテ會員互ニ相親和シ高尚ナル智德ヲ涵養シ且ツ體育ヲ奬勵スルヲ以テ目的トス

第三條　本會ニ左ノ諸部ヲ設ク

○文　藝　部
○美　術　部

○辯　論　部
○音　樂　部
○水　上　部
○競　技　部
○野　球　部
○庭　球　部
○山　岳　部
○ラグビー部
○ホッケー部
○傳　書　鳩　部

第四條　本會ハ毎年春秋二回大會ヲ開ク

第五條　本會ハ會員ト慶弔喜憂ヲ共ニセン爲メ相當ノ方法ヲ以テ誠

意ヲ表ス

第六條　本會ハ本院出身者ヨリナル櫻友會ニ對シ提携親和ノ實ヲ擧ケンコトヲ期ス

第七條　本規則ハ總會ノ議ヲ經且ツ會長ノ認可ヲ受クルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二章　會員

第八條　本會ハ會員ヲ以テ組織ス

通常會員　高等科及中等科學生

賛成會員　院長及教職員但シ雇員事務囑託員ハ入會ヲ申込タル者ニ限ル

第九條　會員ハ會費トシテ所定ノ金額ヲ納ムヘシ

第十條　會員ニシテ本會ニ關シ意見ヲ有スル者ハ何時ニテモ之ヲ副

會長ニ申出ツルコトヲ得

第十一條　本院ヲ去ラレタル皇族及本會ノ爲メニ特ニ功勞アリタル者ヲ以テ名譽客員トス

第三章　役員

第十二條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一名

副會長　一名

會計主任　一名

部長　各部ニ一名宛

委員　會務委員四名、各部ノ委員二名又ハ三名宛

評議員　若干名

代表員　高等科文理科ヲ通シテ各學年ニ九名宛
中等科第四學年以上ノ各組ニ二名宛中
等科第三學年以下ノ各組ニ一名宛

第十三條　會長ハ本會ヲ總理ス

第十四條　副會長ハ會長ヲ補佐シ且ツ本會大會ノ事務其他各部ニ屬セサル庶務ヲ管理ス

第十五條　會計主任ハ本會ニ關スル一切ノ會計ヲ管理ス

第十六條　部長ハ其部ノ事務ヲ管理ス

第十七條　會務委員ハ副會長ノ指揮監督ヲ承ケ其管理ノ事務ヲ處理シ兼ネテ會計主任ノ事務ヲ助ク各部ノ委員ハ其部長ノ指揮監督ヲ承ケ其部ノ事務ヲ處理ス

第十八條　評議員ハ評議會ヲ組織シテ會長ヨリ諮詢ノ事項ヲ議ス

會長ハ必要アルトキハ評議員ヲシテ各部其他ノ事務ニ參與セシムルコトヲ得

第十九條　代表員ハ高等科ニ於テハ其學年ヲ中等科ニ於テハ其組ヲ夫々代表シテ意見ヲ申出テ又ハ本會ノ意圖ヲ通達スルノ任ニ當ル

第二十條　會長ニハ院長ヲ推ス副會長會計主任部長及評議員ハ贊成會員中ヨリ會長之レヲ囑託ス

部長及評議員ノ任期ハ二ケ年トス

會計主任ハ他ノ役員ト相兼ヌルコトヲ得ス

副會長及部長ハ評議員タルコトヲ得ス

第二十一條　委員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ通常會員ノ互選ニ依ル

委員ハ他ノ委員又ハ代表員ヲ兼ヌル事ヲ得ス

委員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年六月ニ改選ス

第二十二條　代表員ハ各學年又ハ各組ニ於ケル通常會員ノ互選ニ依ル

代表員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年四月ニ改選ス

第二十三條　本會ノ庶務及會計ヲ處理セシムル爲メ事務員若干名ヲ置クコトヲ得

事務員ハ其事務ノ分擔ニ從ヒ夫々副會長又ハ會計主任ノ指揮ヲ承ク

第四章　總會及委員會

第二十四條　總會ハ代表員ヲ以テ組織シ會長之レヲ招集ス

他ノ役員ハ總會ニ列スルモノトシ何時タリトモ發言スルコトヲ得

第二十五條　總會ニハ副會長ヲ議長トナシ本則ノ變更豫算及決算其

他重要ナル事項ヲ附議ス

決議ハ會長ノ認可ヲ經テ其効力ヲ生ス

第二十六條　總會ハ毎年春秋二回ノ外委員會又ハ代表員十名以上ノ請求ニヨリ其他必要ト認メタル場合ニ之ヲ招集ス

總會招集ノ通知ハ開會ノ日時、議案、理由等ヲ示シ開會ノ五日前ニ於テ發スヘシ但シ緊急ノ場合ハ此ノ限リニアラス

第二十七條　委員會ハ委員ヲ以テ組織シ副會長之ヲ招集ス

會計主任及部長ハ委員會ニ列スルモノトス

副會長ハ必要ト認メタル場合ニハ評議員ヲ委員會ニ列セシムルコトヲ得

第二十八條　委員會ニハ副會長又ハ其指名シタル者ヲ議長トナシ總會ニ附スヘキ規則ノ變更、豫算ノ原案、決算ノ報告其他會計規則ニ定

メラレタル事項及第四條第五條ニ關スル日時方法其他各部ニ關聯スル事項ヲ附議ス

第二十九條　委員會ハ會計主任又ハ部長ノ請求ニヨリ其他必要ト認メタル場合ニ隨時之レヲ招集ス

第三十條　總會及委員會ノ議事要領及決議ハ之レヲ記錄ニ存シ會長ノ檢閲ヲ經テ保存スヘシ

第三十一條　凡テ會議ハ定員ノ三分ノ二以上ノ出席ヲ要シ議事ハ出席人員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五章　會計

第三十二條　本會ノ會計ハ明治三十五年十二月院長ヨリ發セラレタル達示ニ據ル

第三十三條　通常會員ノ會費ハ左ノ區別ニ依ル

高等科ノ會員　一ヶ年　金貳拾壹圓

中等科ノ會員　一ヶ年　金拾五圓

第三十四條　教員タル賛成會員ノ會費ハ毎月其俸給又ハ手當ノ百分ノ一其他ノ賛成會員ハ其俸給又ハ手當ノ二百分ノ一トス

第三十五條　會計ニ關スル規則ハ別ニ之レヲ定ム

第三十六條　決算ハ毎年七月本會雜誌ニ於テ之ヲ報告ス

○學習院輔仁會役員

會長	野村吉三郎
副會長	金田鬼一
同參與	渡邊八郎
會計主任	倉敷福太郎

事務員　本郷一郎
同　吉田善之助
同　小野田豊三郎
評議員　野村行一
　　關口雷三
　　東條操
會計審査委員　長澤英一郎
　　渡邊八郎
　　岩脇莞爾
　　板澤武雄
　　秋山峰三郎
　　井上敏

會計審査委員　平田眞
　　藤井宇多治郎
競技部參與　宮原治
　　石山乾二
會計審査委員　戸澤富壽
　　井上音松
庭球部參與　清水二郎
　　岩田九郎
　　織田正信
野球部參與　富永惣一
　　江本義數
　　山本修

ラグビー部參與

田淵行實
柳谷武夫
福田福一郎
渡邊末吾
清水眞
鍋島能弘

各部長

文藝部　豐川昇
美術部　岡常次
辯論部　白鳥清
音樂部　山田巖
水上部　長谷川謙

競技部　山本直文
野球部　久野朔郎
庭球部　古賀軍治
山岳部　村松繁樹
ラグビー部　佐藤文四郎
ホッケー部　稲葉三郎
傳書鳩部　飯田謙二

各部委員

文藝部　石本新
美術部　坊城俊孝
城所達士
德大寺公英

辯論部　大木保男　德川義恭　伊臣次郎　渡部正盛　橋口收

音樂部　松平定康　織田長繁　水野顯　鍋島直玄　小田村泰彥　植村家隆　鮫島武臣

水上部

競技部

野球部　西鄕武彥　瀨川正雄　五島進　菅原浩一　有馬喬雄　中山知彥　伊藤和夫　横堀三雄　土田新一　久米正七郎　大村章　五十嵐勅男

庭球部

山岳部

ラグビー部

ホッケー部

中島清
林陸郎
町尻量光
岡島渉
保利康直
有坂雄次
服山敏雄
中井公男
島津久厚
島津泰丸
大田原尙清

傳書鳩部

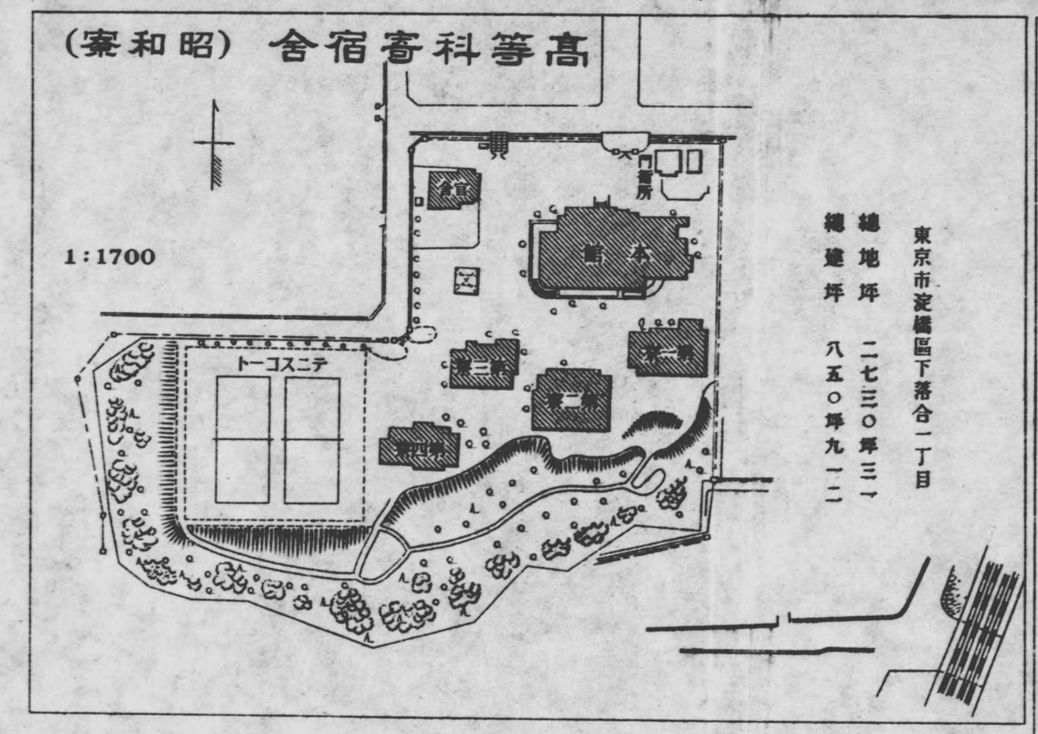
會務委員

秋田一季

市場通東郡沼津
福岡線
鉄道線
鉄道線
六三四五
六三五
七四〇
七四三
新
斯
斯
教主堂
教主堂
教主堂

學習院

高等科寄宿舍（昭和寮）

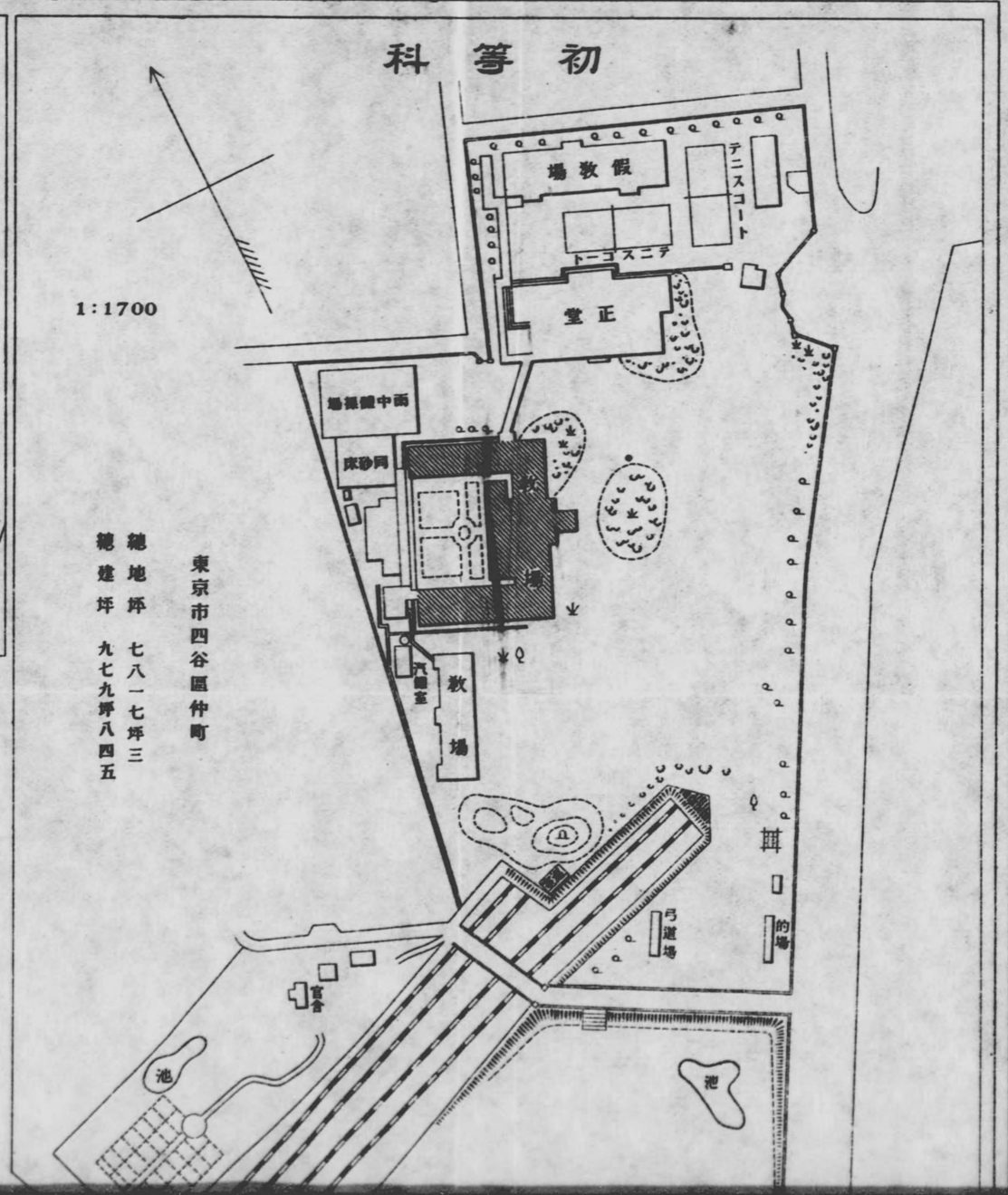


東京市淀橋區下落合一丁目

總地坪　二七三〇坪三一

總建坪　八五〇坪九一二

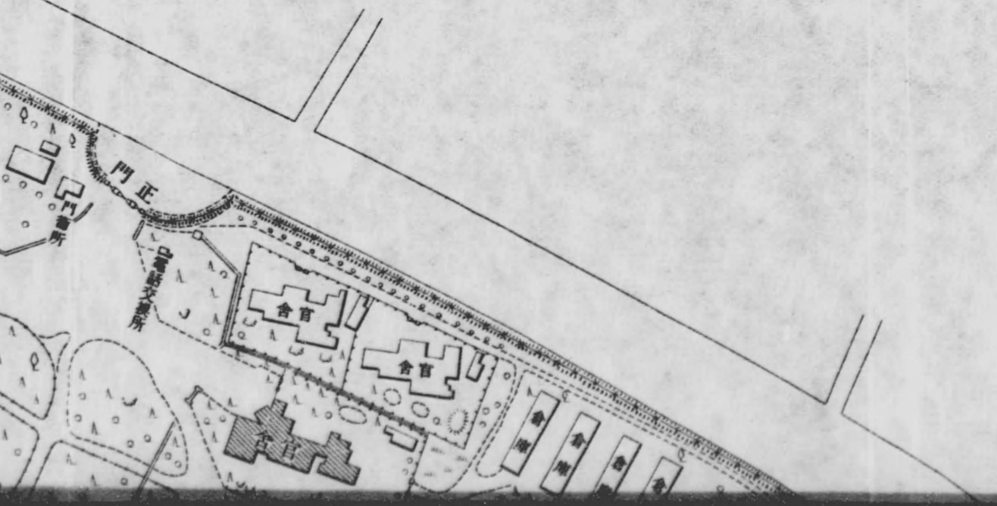
初等科



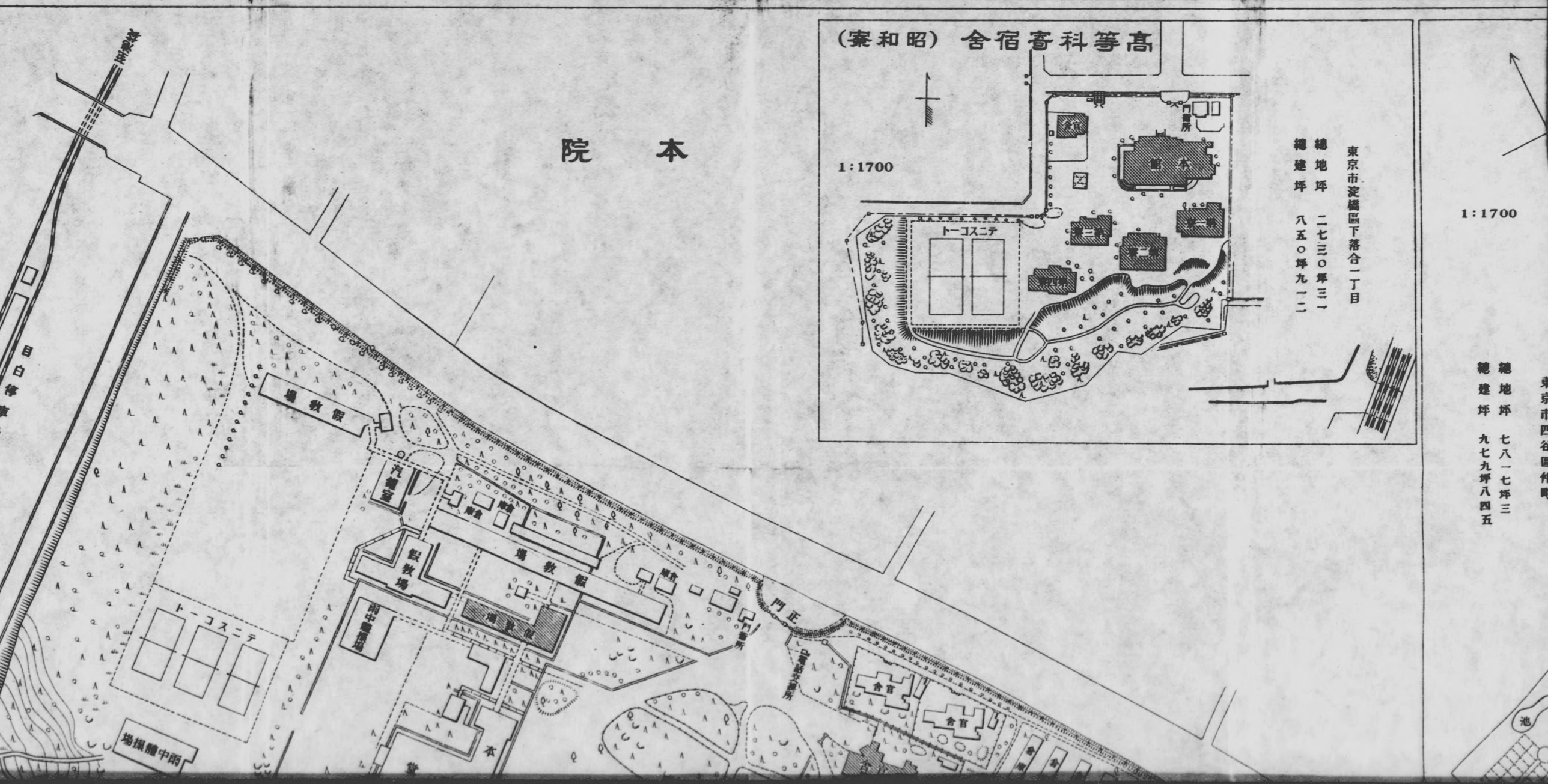
東京市四谷區仲町

總地坪　七八一七坪三

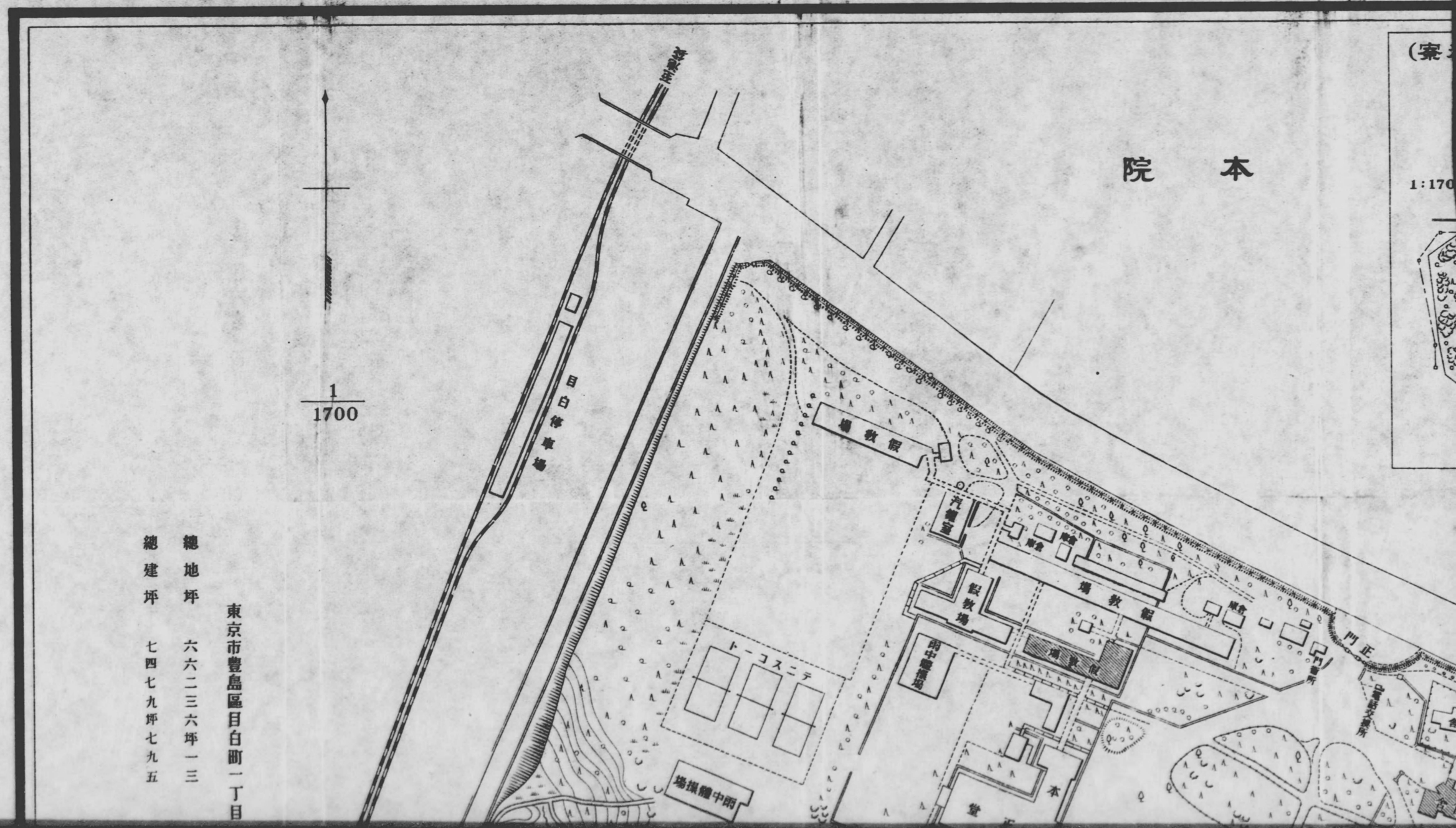
總建坪　九七九坪八四五



學習院全圖


本院
高等科寄宿舍（昭和寮）
1:1700
東京市淀橋區下落合一丁目
總地坪 二七三〇坪三
總建坪 八五〇坪九一二
1:1700
總地坪 七八一七坪三
總建坪 九七九坪八四五
東京市四谷區
目白停車場
假教場
汽車室
倉庫
假教場
明治天皇御遺場
教場
御教場
門衛所
正門
官舍
官舍
本營
雨中體操場
トーコスニテ
池

院全圖


本院
1/1700
東京市豐島區目白町一丁目
總地坪 六六二三六坪一三
總建坪 七四七九坪七九五
目白停車場
假教場
教場
假教場
明中體操場
明中體操場
テニスコート
正門
門衛所
(案)
1:170

1:1700
東京市淀橋區下落合一丁目
總地坪 二七三〇坪三
總建坪 八五〇坪九一二
本館
第一舍
第二舍
第三舍
第四舍
第五舍
トーコスニテ
門書所
1:1700
東京市四谷區仲町
總地坪 七八一七坪三
總建坪 九七九坪八四五
正堂
假教場
テニスコート
トーコスニテ
教場
池
的場
弓道場
正門
門書所
舍宮
舍宮
舍宮
別館
寄宿舍
クツラト

本院

1:1700

東京市淀橋區下落合一丁目

總地坪　二七三〇坪三一

總建坪　八五〇坪九一二

1:1700

總地坪　七八一七坪三

總建坪　九七九坪八四五

目白停車場

駅教場

汽罐室

駅教場

駅教場

駅教場

雨中體操場

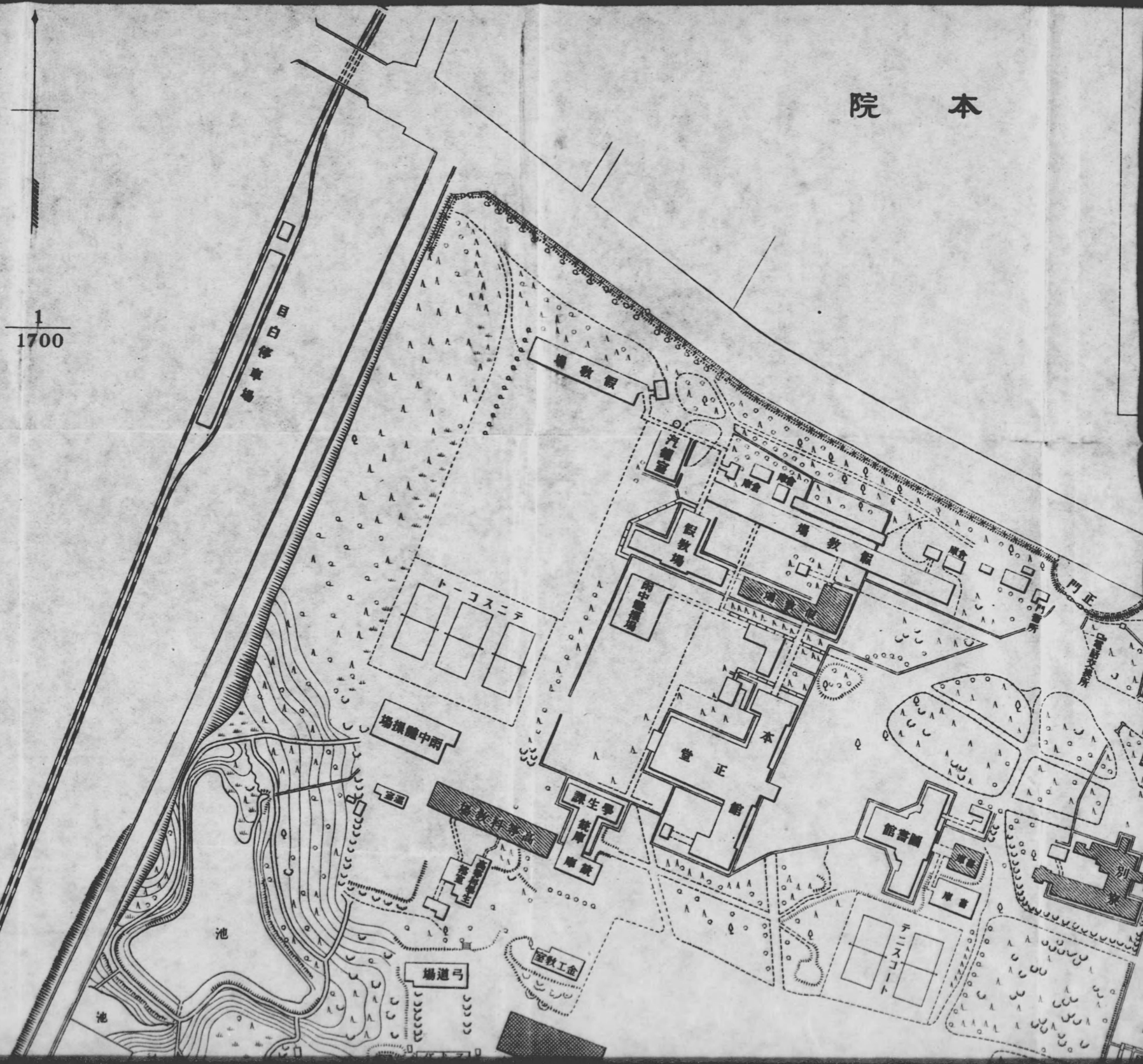
門衛所

門正

宿舎

宿舎

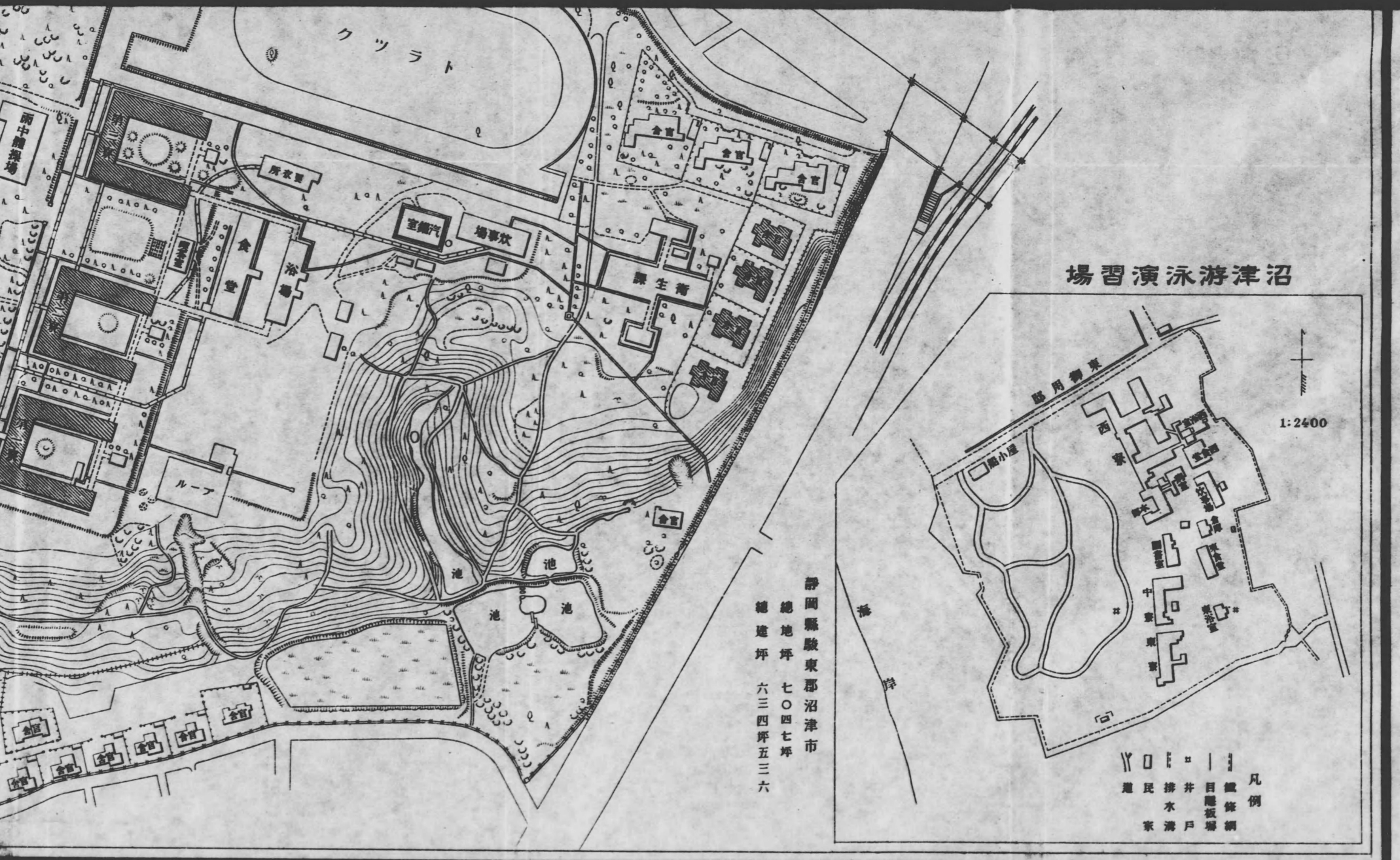
宿舎



東京市豐島區目白町一丁目

總地坪　六六二三六坪一三

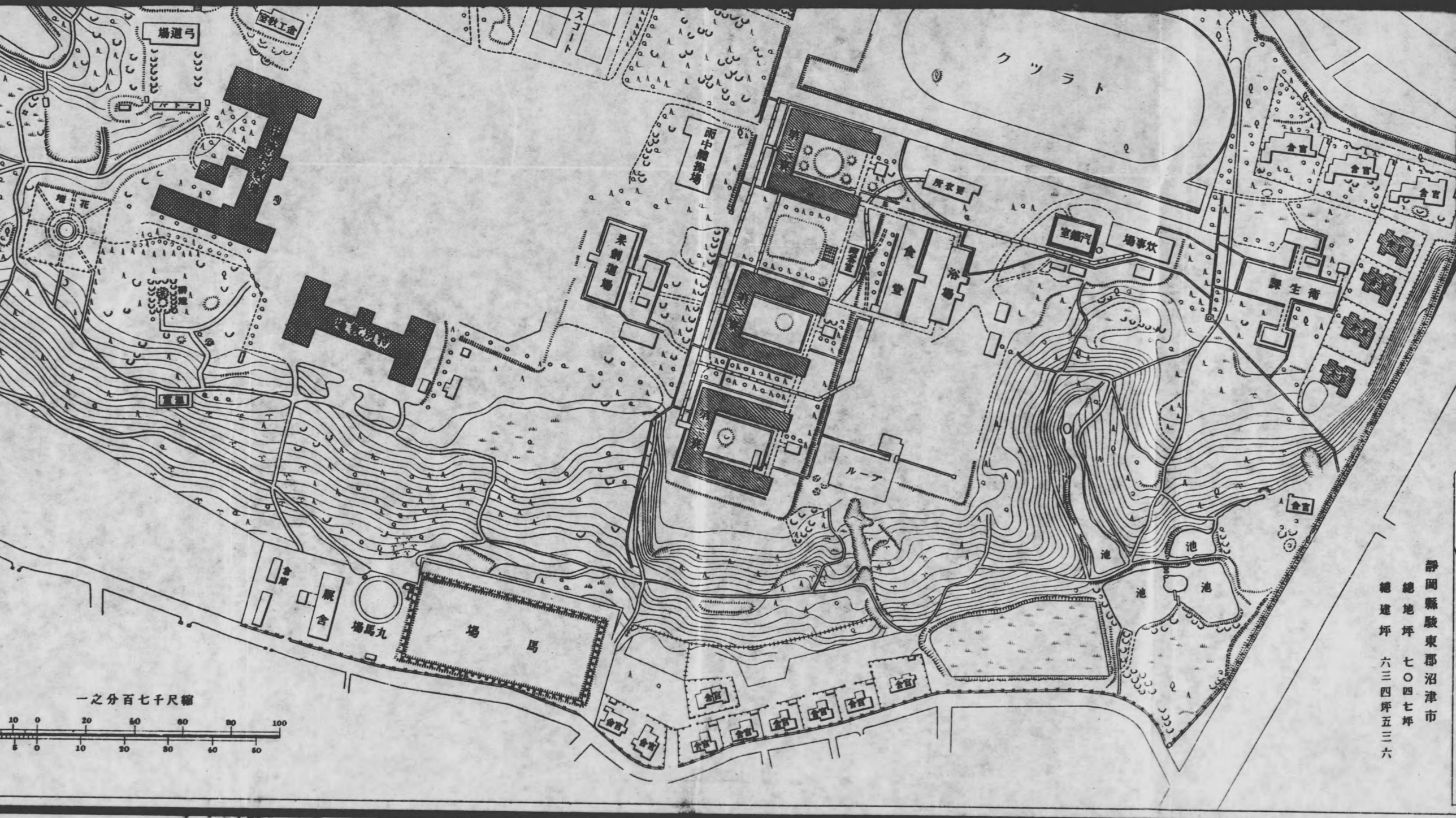
總建坪　七四七九坪七九五



静岡縣駿東郡沼津市

總地坪　七〇四七坪

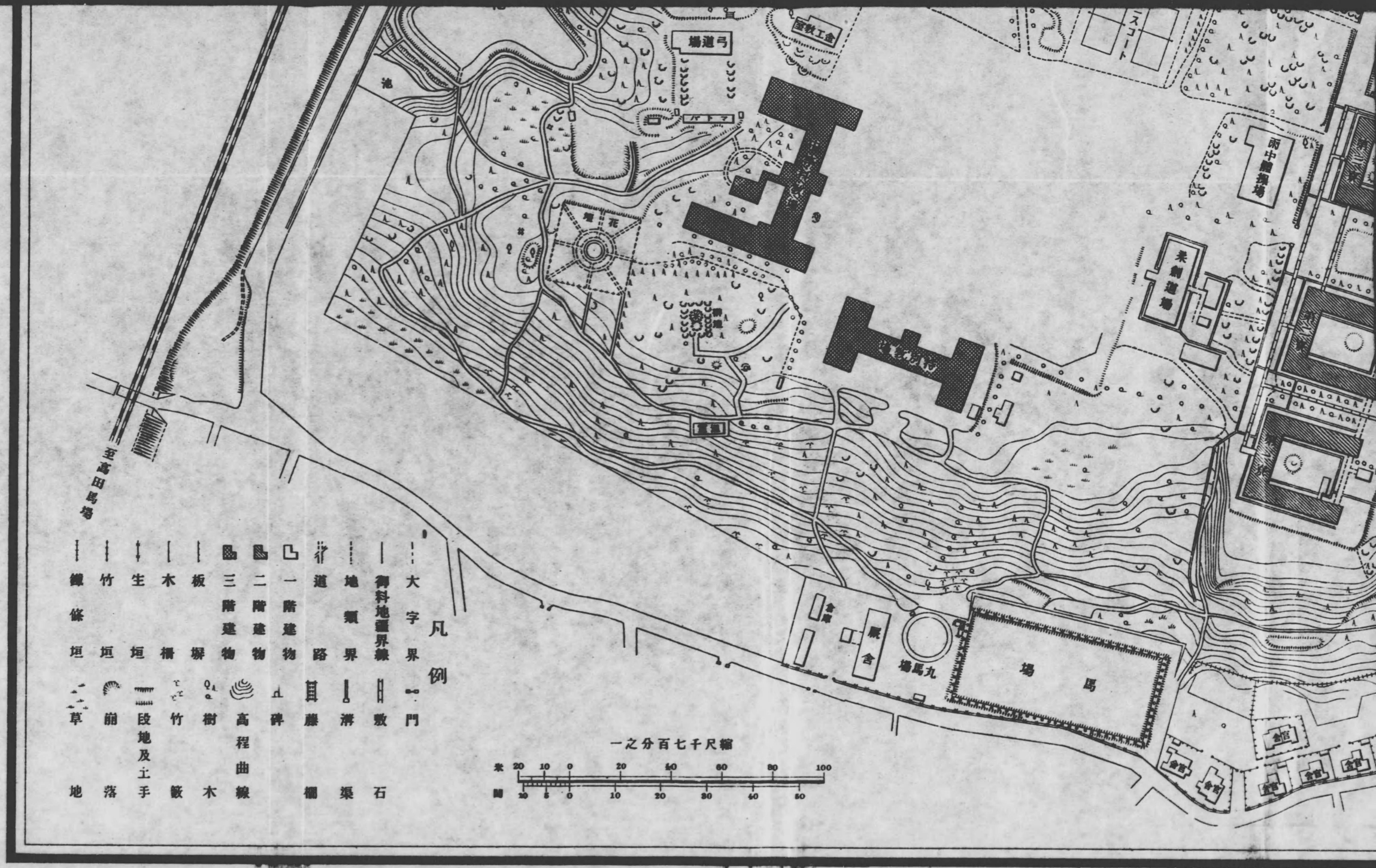
總建坪　六三四坪五三六

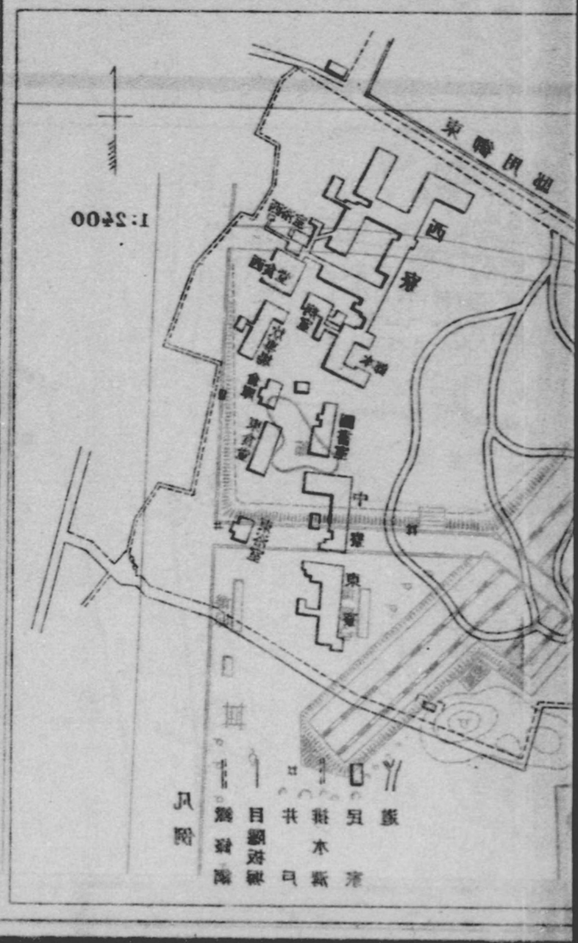


静岡縣駿東郡沼津市

總地坪　七〇四七坪

總建坪　六三四坪五三六


弓道場
金工教室
テニスコート
池
パトマ
噴水
花壇
雨中運動場
柔剣道場
重量
倉庫
厩舎
丸馬場
馬場
館
凡例
大字界
門
御料地區界線
敷石
地類界
溝渠
道路
藤柵
一階建物
碑
二階建物
高程曲線
三階建物
板塀
樹木
竹藪
木柵
生垣
段地及土手
竹垣
崩落地
鐵條垣
草地
縮尺千七百分之一
米
間


學習院構内略圖
1:2400
凡例
鐵道線路
目黒蒲田電鐵
井戸
桜木橋
宣下橋
東京
中等
西等
高等
東等
西等
本館
図書館
教授室
教授室
教授室

282
5